

令和8年度 学校司書研修会・交流会（全7回）開催要項

1. 目的

第5次滋賀県子ども読書活動推進計画では、重点的取組事項として、学校図書館の機能強化および取組の充実が挙げられている。それには学校図書館の環境整備と活用促進に直接関わる学校司書の働きが重要である。本年度行う研修会・交流会では、学校では一人職種で専門職である学校司書の力量の向上を目指し、今後、各市町、各校種での研修にも生かせる内容を取り上げる。

2. 対象

- ・ 県内の小・中・高等学校・義務教育学校の学校図書館で学校司書として勤務している方。
- ・ 主に学校図書館の仕事を有償でしている方。

3. 応募方法

(1) 応募フォーム（しがネット受付サービス）

<https://ttzk.graffer.jp/pref-shiga/smart-apply/apply-procedure-alias/r8-shisyoken>



4. 募集期間および定員

- ・ 第1回目のみ、オンライン（当日遠隔）での参加を募集します。
- ・ 会場参加は各回の2週間前まで、オンデマンド配信は令和9年2月26日（金）まで受け付けます。
- ・ 会場参加は、各回の定員に達し次第、募集を締め切ります。

5. 日程と内容

- ・ 当日、会場の受付開始は、各回の開始時刻の30分前から行います。

■ 第1回 授業で活きる学校図書館になろう ～点検読書ワークショップ～

日時：5月29日（金）14：00～16：00

場所：滋賀県庁北新館5A会議室（定員60名）

事業説明	講師：木下 通子さん（オフィスみちねこ代表 社会教育士 元埼玉県高校司書） 学校図書館は、授業で活用されることで生き活きてきます。 この研修では、昨年『読書活動・探究活動を支援する学校図書館を活用した楽しい読書ワーク』を出版された木下通子さんを講師に、学校図書館が授業で活用される意義を確認し、〈点検読書〉のワークを体験します。 〈点検読書〉は司書が主体的に行えるどの授業でも活用できるワークです。 現地参加を推奨します。現地で参加される方は、『岩波ジュニア新書』『ちくまプリマー新書』『岩波ジュニアスタートボックス』『ちくまQボックス』から、ご自身が〈未読〉の本を1冊選んで読まずに持参してください。 ※この回に限り、オンライン（当日遠隔）での参加も受付しています。
------	---

■ 第2回 学校司書の仕事を続ける上で大切なこと

日時：7月14日(火) 14:00~16:00 場所：米原市役所市民交流エリア3C会議室(定員60名)

講師：加藤 容子さん(岡山市、津山市元学校司書)

岡山市では、1989年に全校に専任・専門の学校司書を配置し、生涯にわたって読書に親しみ、学び続けることのできる「生涯読書する人」「生涯学び続ける人」の基礎を培うことを目指しています。その岡山市で長く学校司書をされていた加藤さんに、学校図書館の変遷や、司書集団として取り組んできたこと、学校司書の仕事を続ける上で大切なことをお話していただきます。

■ 第3回 学校図書館から「図書館の自由」を考える

日時：8月20日(木) 14:00~16:00 場所：滋賀県庁北新館5B会議室(定員60名)

講師：山口 真也さん(沖縄国際大学総合文化学部教授、沖縄国際大学図書館長、
日本図書館協会 図書館の自由委員会委員長)

県内の公共図書館の入り口に掲げられている「図書館の自由に関する宣言」。この宣言を読み解いていくと、日々、学校図書館でしている「本を買うこと」「貸出すること」は、簡単のように見えて、実は考えることがたくさんあり、大切なことであることが見えてきます。資料収集方針・廃棄基準、児童生徒のプライバシーについて、宣言の視点から考えるためのポイントをお話していただきます。※この回に限り、公共図書館司書の参加も受け付けています。

■ 第4回 学校図書館の3つの機能

日時：9月3日(木) 13:00~15:00 場所：プロシードアリーナ HIKONE(定員30名)

講師：塩谷 京子さん(放送大学客員准教授、関西大学、昭和女子大学非常勤講師)

読書センター、学習センター、情報センターの3つの機能を活用した実践例を豊富に提示していただきます。それぞれの学校にあわせた学校図書館のさらなる活用のイメージを持っていただくためにお話をさせていただきます。

※学校図書館サポーター養成講座との合同開催です。

■ 第5回 学校における読書バリアフリー

日時：10月1日(木) 13:30~15:30 場所：滋賀県立視覚障害者センター(定員30名)

講師：細戸 康治さん(県立視覚障害者センター読書バリアフリー推進員)

2019年に施行された「読書バリアフリー法」。学校図書館でも「読む」ための整備が必要とされています。学校における多様な読書のあり方についてお話をいただき、実際に、読書支援機器の取扱いを体験していただきます。※学校図書館サポーター養成講座との合同開催です。

■ 第6回 「ふだん使い」の学校図書館 ～中学校での実践～

日時：10月7日(水) 14:00~16:00 場所：東近江市立能登川図書館(定員30名)

講師：田中 悠紀さん(豊中市教育委員会事務局 読書振興課 こども読書係)
山北 郁子さん(豊中市立第十四中学校 学校司書)

大阪府豊中市では、「とよなかブックプラネット事業」による学校図書館の環境整備が行われています。このような支援の中で、学校図書館が、読書センター、学習・情報センター、教職員支援センターとして、「ふだん使い」に機能している中学校での授業や図書館活動についてお話していただきます。

■ 第7回 学校が学校司書に求める役割

日時：11月26日(木) 13:00~15:00 場所：湖東合同庁舎 1-C 会議室(定員30名)

講師：小野田 文雄さん(元湖南市立石部中学校長(学校図書館長))

滋賀で長らく学校図書館を授業に活かしてこられた先生の視点と、学校図書館長として学校図書館の経営に携わってきた経験から、学校司書に求める役割をお話していただきます。

※学校図書館サポーター養成講座との合同開催です。

日程	講座名 会場	定員	申込締切
5/29 (金) 14:00~16:00	第1回 授業で活きる学校図書館になろう ～点検読書ワークショップ～ 場所：滋賀県庁北新館5 A会議室（大津市京町四丁目1-1）	60名	5/15(金)
7/14 (火) 14:00~16:00	第2回 学校司書の仕事を続ける上で大切なこと 場所：米原市役所市民交流エリア3 C会議室（米原市米原1016番地）	60名	6/30(火)
8/20 (木) 14:00~16:00	第3回 学校図書館から「図書館の自由」を考える 場所：滋賀県庁北新館5 B会議室（大津市京町四丁目1-1）	60名	8/6 (木)
9/3(木) 13:00~15:00	第4回 学校図書館の3つの機能 場所：プロシードアリーナ HIKONE（彦根市小泉町640）	30名	8/20 (木)
10/1 (木) 13:30~15:30	第5回 学校におけるバリアフリー 場所：滋賀県立視覚障害者センター（彦根市松原一丁目12番17号）	30名	9/17 (木)
10/7(水) 14:00~16:00	第6回 「ふだん使い」の学校図書館 ～中学校での実践～ 場所：東近江市立能登川図書館（東近江市山路町2225）	30名	9/24(木)
11/26(木) 13:00~15:00	第7回 学校が学校司書に求める役割 場所：湖東合同庁舎 1-C 会議室（彦根市元町4-1）	30名	11/12 (木)

6. 特記事項

- ・第4回、第5回、第7回の研修会は、県教育委員会事務局 生涯学習課が主催する学校図書館サポーター養成講座と合同開催です。第4回、第7回は、開始時刻が13時（12時30分受付開始）、第5回は、開始時間が13時30分（13時受付開始）となりますので、ご注意ください。
- ・オンデマンド配信では、講演および事例発表等のみ配信します。

7. その他

- ・各会場は駐車スペースが限られております。可能な限り公共交通機関を御利用ください。
- ・交通費は自己負担です。
- ・悪天候等の場合は、開催方法を変更する場合がありますのでご了承ください。
なお、開催の変更等に関する情報は、
滋賀県学習情報提供システム「におねっと」(<https://www.nionet.jp>)
「こども としょかん」ポータル(<https://www.shiga-pref-library.jp/kodosup/>)
を通じて発信します。
- ・講師は予告なく変更となる場合があります。



「こども としょかん」ポータル

<問合せ先>

滋賀県教育委員会事務局 生涯学習課
「こども としょかん」サポートセンター
E-mail : kodosup@pref.shiga.lg.jp
TEL : 077-528-4656